

平成27年度 小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況

1 利用者支援事業

事業概要	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供を行い、必要に応じてそれらの相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業
事業目的 (目指すべき目標)	個々の家庭状況に則した適切なサービス利用が円滑に図られるよう相談・助言や関係機関との連絡調整を実施する。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	専任の相談員を1名配置する。

事業費(円)		平成27年度 予算	平成27年度 決算	平成28年度 予算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費	1,658,000	1,651,370	1,700,000			
	特定 財源						
	国庫支出金	552,000	548,000	566,000			
	道支出金	552,000	548,000	566,000			
	その他						
	一般財源	554,000	555,370	568,000			

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	実施か所数	か所	1	1	1	1	1
【特記事項】							

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	相談件数	件	176	200	200	200	200
【特記事項】 同一人物の複数の相談に対し助言等行ったものは、それぞれの相談内容を1件と数えている。							

(A)(B)を考慮した需要量 (指標)の設定及び確保 方針、実績を数値で表示	需要量(指標)	実施箇所数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	需要量の見込み(か所)	1	1	1	1	1
	確保方針(か所)	1	1	1	1	1
★事業計画策定済み★	実績(か所)	1				

【事業評価】 A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。						
事業実施者による事業評価		A				
小樽市子ども・子育て会議における事業評価		A				

<確保方針> 事業計画から抜粋	子どもの保護者からの「子ども・子育て支援新制度」移行に伴う教育・保育サービスの制度改正に関する照会や、教育・保育施設、地域子育て支援事業などの利用に関する相談に応じるとともに、個々の家庭状況に則した適切なサービス利用が円滑に図られるよう本市(子育て支援課)に専任の相談員1名を配置します。
--------------------	--

◆平成27年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)	
市役所子育て支援課窓口で専任職員(利用者支援相談員)を平成27年4月から配置したことにより、子ども又は保護者の身近な場所において保護者の様々な状況に合わせたサービスの照会、相談に対する助言等を行うことができた。また、より多くの保護者からの相談等に対応できるよう知識を深めるため、平成28年2月に専任職員が子育て支援員研修を受講し、子育て支援員の資格を取得したことにより、更に保護者のニーズに合わせて対応することができた。	
◆平成28年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)	
今後も個々の家庭状況に則した適切なサービス利用が円滑に図られるよう、関係機関との連絡調整を実施しながら、保護者の相談内容に合わせた助言や提案が行えるよう、引き続き市役所子育て支援課窓口において事業を実施する。	